

ルール3：S級激カワGALLを虜に落とした、ヤバい禁断の4ステップ！！

Kです、

あなたは気に入った女性と
『親密なカンケー』になりたいですか？

...

できるだけ鮮明に、明確に
リアルに『想像』して下さい。

...

あなたは、密かに『好意』を寄せている
女性と2人きり何気ない雑談をしている。

すると...

みるみるうちに
彼女のテンションは
『ノリノリ』状態に。

そう。

別に、あなたが聞いたワケじゃない。

それでも彼女は
とっても楽しげに『プライベートな話』を
あなたに、ペラペラと、打ち明けてくれる。

「なんか、私、○○君と話してると楽しい！」
「ねえ、ねえ、もっと一緒に、話そーよ！！」

そんな風に、

好きな女からグッと来る『セリフ』を
極上の笑顔で言われたいですか？



そう。

特段、あなたが
女性を口説いているワケじゃない。

それでも・・・

女性が勝手に『その気』になり始め
いつの間にか、コロリと参っちゃう…

そして、

あなたは、こう言われる。

「せっかくだしさあ…、LINE 交換しない？」
「あの…次の日曜って、〇〇君、時間ある？」

あなたが女性を誘う前に
向こうから『デート』に
誘ってくれる。

あなたが
「連絡先を交換しようよ！」
と言う前に、

女性の方から
あなたへ申し出をしてくれる。

そんな、

腹の底でニヤニヤが止まらない感覚を
思う存分、味わいたいですか？

・・・

OK です。

これから話す
『ルール3』さえ、

あなたがマスターできれば…

あなたは目当ての女性とトーク1つで
2人の仲をどんどん深めていくことが
超絶カンタンにできるようになります。

これからは、

大好きな彼女の可愛い笑顔を あなた1人で『独り占め』できちゃう

女性は、あなた『だけ』に
ラブリーで、キュートな表情を
見せてくれる。

「ねえ、ねえ、あのさ～！！」

2人のおしゃべりが、永遠に止まらない。

そこに『ブレーキ』なんて
ヤボな物は当然存在しない。

本当に、

女性は『オシャベリ』が大好物

です。

なので・・・

あなたは
女性の言葉1つ1つに
耳を傾けてあげてください。

- ・時に、腹を抱えながらバカ笑いをする
- ・時に、真剣モードで真面目な話もする

あなたは大好きな女性と
ステキな時間を思う存分
楽しんで下さい。

...

ですが！！

もしも、今、あなたが
『ルール3』を理解できなければ、

- ・恋愛
- ・色恋
- ・彼女

etc...

そういった話ではなく、

**そもそも女性と仲良くなること自体が
極めて困難な状況になってしまいます。**

たとえ、あなたが幸運に恵まれて
好きな女性と2人で時間を過ごす、

千載一遇の『ビッグチャンス』を得ることが
できたとしても…

あなたの存在は、

- ・そこらに充満している『空気』なのか？
- ・飾ってあるだけの『オブジェ』なのか？

あなたのことは完全、無視状態
女性は『だんまり』をキメ込む…

なるほど。。

どうやら彼女は、

あなたと『オシャベリする』よりも
スマホいじりの方が、楽しいご様子だ…



そんな風に、ずっと好きだった女性から
凄まじい『モロ恋愛対象外アピール』をされ…

泣く泣く、あなたは・・・

気まずい空気を嘔み殺しながら 女性との時間をやり過ごすハメになる

そう。

いくら熱心に
あなたが女性に対して、

- ・口説き文句をささやく
- ・爆笑ネタを炸裂させる
- ・愚痴を聞いてあげる

etc・・・

そんな努力を重ねた所で
すべてが『水の泡』に終わる。

つまり、

気になるあの子は
永遠に、ふり向いてくれない悲惨な結末・・・

あなたが絶賛ゾッコン中の女は 生涯あなたを『オス』として認識しない

いくら女性と
会話を積み重ねようが・・・

「うん、うん、あー…、そうだね。」

イマイチ会話が盛り上がらない。

それどころか！！

あなたの目の前にいる女性は
表情1つ『ピクリ』と動かさない。

わざわざ言葉に出さずとも
ダイレクトに伝わってくる…

気安く、声かけないでくれる？

オマエみたいな『退屈な男』と
グダグダ一緒にいてもさあ…

アタシ、全然つまらないんだよね？

僕たち男にとっては
あまりに残酷すぎる
『無言』の意思表示。

(ああ、オレなんかと、一緒にいても
きっと、楽しくねえんだろうなあ…)

それだけに、飽き足らず…

気が向いた時だけに、

彼女がチラッと見せる『作り笑い』が また、心にグサッと突き刺さる

(あぁー、俺ってヤツは
なんて、口ベタ野郎なんだ…)

当然ですが
こんな悲惨な状況であれば…

そりゃ『彼女を作る』所の騒ぎじゃありません。

それじゃ・・・

そもそも女性が
『フツの友達』にすらなってくれない
ですよ？

ですが！！

安心して下さい。

たとえ今のあなたが
虫クズ野郎の『会話レベル』でも…

たった今、すべて解決します。

では。

まず、最初に、

女性に『共感』することが大切だ

という話があります。

恋愛本などを
1回でも読んだことがある男性であれば…

きっと当たり前のように
知っている内容だと思います。

そうです。

やっぱり男女の恋愛には『共感』が必要不可欠です。

だけど…

そんなコトは
みんな言っていること。

ご丁寧に、僕が、改めて
クドクド説明する必要もない…

…でしょ？

『女性に共感することが大事』

んなモンは、

- ・ ネット上に転がってる恋愛の記事
- ・ 本屋さんで販売されている恋愛本

etc…

至る場所に、

「共感が大切ですよ！」と
デカデカと書かれています。

では！！

あなたに『1つ』だけ質問します。

『共感』とは一体、何ですか？

…

共感とは何か？

う～ん…。

共感。

共感と聞けば、何とな～く分かる。

だけど…。

正直な所、何とな～く分からない。

…。

そう。

実は、これが『本音』だと思います。

恋のカギ穴をこじ開ける魔法のキー 『共感』をテキストに解釈しては…

女性と仲良くなることは
『蜃気楼を掴み取る』みたいな話です。

つまり、

100%ムリ

って、ことです。

それこそ…

- ・女性にモテますように！！
- ・彼女ができますように！！

そんな風に、

いくら縁結びの神様に『祈り』を捧げても
叶えられないムリな願い、というワケです。

そもそも…

願うだけで叶う夢なんて、たかが知れています。

そう。

まず『共感』です。

それと同時に今回は、

女性への『理解』について

あなたに
かなり『詳しく』お伝えしていきます。

いいですか？

では、手始めに！！

『理解』には
恐ろしいパワーがあることを
あなたにお話します。

これは実際に起きた、悲劇の実話。

アメリカ合衆国で勃発した とある宗教団体の悲惨な集団自殺

です。

あなたが暮らしている『日本』とは違って…

アメリカには
小さい規模の宗教団体がたくさんある
らしいです。

「らしい」って、言うのは…

実際に僕が、アメリカ現地に出向いて
自分の目で確かめたワケじゃないので
『らしい』という表現をしました。

…えっ!?

そんな、細けえコトは、気にしないって？

失礼しました。

で、

アメリカには『10人～30人』程度の
小規模の宗派みたいのが至る所であって、

その宗教団体が
度々『集団自殺』をするらしい。

今回のケースは、

密室で致死量の『猛毒ガス』を使用した 教団メンバー全員での集団自殺

でした。

教祖様を筆頭に・・・

教団メンバーが
密閉された部屋に閉じこもる。

そこで、猛毒ガスを使用。

『集団自殺』です。

しかし・・・

幸か不幸か『1人』だけ
生き残ってしまった。

毒ガスで心臓にトドメを刺せなかった 生存者の女性が『1人だけ』いました

中年の女性だったのですが
1人だけ生き残ってしまった。

「生き残ってしまった」って言うのは
彼女は本気で死ぬつもりだったからです。

すると・・・

生き残った女性は
各方面の『メディア』やら『テレビ』から
いろんなインタビューをされるワケです。

・・・

「何で、あなたは、死のうと思ったんですか？」
「残された家族のことは、考えなかったんですか？」
「あなたに、他の選択肢は、なかったんですか？」

・・・

女性は、根掘り葉掘り
いろんな記者から無遠慮に
インタビューを受けました。

・・・

「その宗教の、どこが良かったんですか？」
「変なウワサがありました、どう感じてましたか？」

・・・

そして最後に
女性が放った決定的な言葉。

かなり興味深いのですが、その言葉・・・

なぜ、あなたは
死のうと思ったんですか？

その問いに対して、

私を理解してくれたのは
教祖様『しか』いなかったからです…

と、言った。

家族も、友達も、誰も、みんな1人も
私のことを全然『分かって』くれない。

親族も、職場の人間も、誰1人として
私のことを『理解』してくれなかった。

みんな私のことなんて『理解』してくれない。

だけど・・・

教祖様だけは私のことを『理解』してくれた。

だから。

その教祖様が「一緒に死のう」と言ったから
私は死ぬことを決めたんです。

と。

いいですか？

まず、ここで
あなたに覚えてほしいことは、

『理解』には 人間を自殺に追い込む魔力がある

という『事実』です。

ただし！！

今の話は、理解の『ベクトルが悪い』ですよ？

理解という『チカラ』を、

- ・自殺
- ・死ぬ

ことに、悪用しているワケですよ？

- ・毒ガス
- ・集団自殺

だとか…

何だか、おっかない話、ですよ？

で、

あなたは、違いますよね？

理解の魔力を『良い方向』に使うんです。

つまり、

好きな女性に対して
理解の底知れない威力を
効果的に利用するのです。

そして、

コレは、大前提です。

人間は

『理解』されたくて必死に生きている

いいですか？

あなたの目の前にいる相手が、

- ・女
- ・オナベ
- ・男
- ・オカマ

そんな、デリケートな事情は、一切関係ナシ。

人間は
理解されたい生き物なのです。

ただ、それだけ、なんです。

言い方を変えるのであれば・・・

『理解されたい』がために、

毎朝、眠い目をこすりながら
寝起きが悪いカラダを起こす。

本当は、二度寝したい・・・

だけど
そこを我慢して頑張って
ベッドから起き上がる。

その後・・・

乗りたくもない満員電車に乗って
行きたくもない職場に出向いて
やりたくもない仕事をこなす。

そして、また寝る。

・・・

全部、全部、全部、理解されたい。

僕たち人間は、誰かに
理解されたくて生きているんです。

では。

もっと突っ込んで表現します。

あなたがベタ惚れしている女性も
誰かに『理解』されたくて生きている

というコトです。

まずは
この事実を今、あなたの脳みそに
『ガツンッ』と刻み込んで下さい。

『人は理解されたい生き物である』
この大事なセリフを、

一度貼ったら、もう二度と剥がれない
『ビニールテープ』のようにベッチョリ
あなたの脳細胞に、こびり付けて下さい

...

ベッチョリ、です。

できましたね？

OKです。

そして、

僕たちが人間関係で
トラブってしまう原因…

それが・・・

この理解を、お互いにできないこと。

だから…

- ・ 国同士で銃撃戦のドンパチ
- ・ 普段の下らない痴話ゲンカ

etc…

いろんな『摩擦』が生じてしまう。

例えば！！

分かりやすい例が
『夫婦喧嘩』です。

旦那さん：

「キャバクラに行くのも、仕事の内なんだよ！」

奥さん：

「そんなこと言って、アンタ、キャバクラばっか、行ってるじゃない！」

スーツのポケットの中に入っていた
キャバ嬢の派手な名刺を見つけた…

奥様が、

仕事でクタクタに疲れ切った
亭主を、スゴイ形相で、問い詰める・・・

よくある『光景』でしょ？

そう。

お互いを『理解』しないから
そこに反発が生まれてしまう。

それこそ『喧嘩』に発展してしまう。

で、

旦那さんには
旦那さんの『現実』がありますよね？

例えば、会社での立場や
人間関係がありますよね。

それと同じように。

奥さんには
奥さんの『現実』がありますよね？

例えば、家事の大変さや
ストレスがありますよね。

そこで…

お互いの『現実』をマッチさせて
お互いが理解し合おうとしないから、

そこに摩擦が生まれて、大ゲンカになる。

要するに、

全ては理解

です。

僕たちが人生で抱える
全ての摩擦の原因とは…

お互いが、お互いを理解しようとしていないこと
『理解できていない』ことに問題があるのです。

で、

もしかしたら今。

あなたの中で
こんな『疑問符』が浮かび上がってきた
かもしれません。

「摩擦って、何だよ？」

例えば、

恋愛での摩擦とは…

- ・女性と楽しく会話ができない
- ・好きな子と連絡先を交換できない
- ・惚れた女性に告白してもフラれてしまう
- ・小さいことで彼女と大喧嘩をしてしまう

etc…

いろんな『ケース』がある
とは思いますが、

早い話が、そういうコト。

- ・彼女ができない

も、僕たち男性が悩む『摩擦』の1つです。

では！！

あなたが好きになった女性を
あなたの『彼女さん』にするためには…

当然、

その女性と
信頼関係を構築する必要がありますよね？

そう。

あなたは
気になる女性と仲良くなる。

そして、

素敵な『彼女さん』を作る上で
絶対に必要になってくるのが…

『女性と信頼関係を構築する』

こと。

かなり大事なので、もう一度言います。

これから、

あなたは気に入った女性と
『信頼関係を構築していく』必要があります。

．．．

いいですか？

信頼関係です。

で、まあ、当たり前ですけど・・・

ただ単に、気になる女性を目撃して
遠目に眺めているだけじゃ『ダメ』ですよ？



それこそ
妄想を膨らませているだけじゃ
『恋』が始まりませんよね？

何かしら、

その女性に対して…

- ・声をかけたり
- ・2人で会話したり

関わりを持ちながら、

その女性と仲良くなって
信頼関係を作る必要がありますよね。

あなたが恋しちゃった女と 親密で『大人なカンケー』になる

必要がありますよね？

つまり、

そのための絶対条件が
女性への『理解』なんです。

では！！

もっと深く切り込んでいきます。

次に、あなたに覚えてほしいことは、

『理解』 = 『現実の共感』

この方程式です。

いいですか？

理解とは『現実の共感』です。

ですが・・・

「現実って、何じゃそりゃ…」
「ま～た、妙なコト、言い出しやがったな…」

なんて、今。

あなたは胸の奥で
感じたかもしれません。

もしくは。

「テメエの話は、分かりずれえな！」

そんな具合に。

僕のことを腹の底で
ピシャッと『デイスった』かも、しれません。

ですが、全然ノープログラムです。

大丈夫。

ここから・・・

あなたの腑に『ストンツ』と落ちるように
かなり詳しく説明していきます。

なので、安心して下さい。

では。

最初です。

まずは『現実』とは何か？

そうですね？

現実とは…

その人が持っている、

- ・信念
- ・想い
- ・思考
- ・感情

etc…

要するに、

現実とは、その人のすべて

を、指します。

例えば、

「あの人の現実って、イカれてるよな～」
「ヤツの現実は、ひねくれてやがるぜ！」

僕たちって、普段・・・

そういう風な話をしますよね。

そう。

その『現実』です。

…えっ！？

まだ、ピンと来ないって？

分かりました。

じゃ、これなら、どうでしょうか？

「あの人とは、住んでる“世界”が違うから」

「アイツとは、持ってる“価値観”が違うから」

「あの野郎とは、“ウマ”が合わねえんだよな」

「オレと、奴とじゃ、“目指してるモン”が違うから」

etc…

- ・ 価値観
- ・ 世界観
- ・ 考えていること
- ・ 感じていること

そういう物を全部まとめて
僕たちは『現実』と呼んでいます。

つまり、

現実とは、その人『そのもの』です。

要するに、ですよ？

相手の女性が持っている現実
あなたが共感することによって
そこに『理解』が生まれます

そして・・・

『理解』が生まれることによって その女性と信頼関係が構築できる

で。

ちょっと今、ね？

ものすご〜く『大事な話』を
あなたにしているんですけど…

少し『考え方』の部分の話なので。

もしかしたら今
あなたは心の中で、

「こうゆーの、別に、オレ、求めてねえんだけどなー」
「なんか、もっと使える話しろよ、クソボケ野郎があ！」
「道德の授業がヤリてえんだったら、よそでやりやがれ！」

etc…

こんな具合に。

もしかしたら今、あなたの好奇心は
強烈な退屈感を感じてしまっている
かもしれません。

だけど！！

ここの部分を理解しておかない限り…

あなたは
女性と仲良くなれない。

それこそ・・・

こんなのはクソだ
所詮、負け犬の夢だったんだよ…

俺みてえのが『彼女を作る』なんて
最初から、ムチャな夢だったんだよ…

と、諦めるハメになってしまいます。

で、

別に、大袈裟じゃなくて。

いくら熱心に
小手先の『恋愛トーク術』を
気になる女性に使った所で…

クソの役にも立たない。

恋愛本で解説されているような
口説きフレーズを100個『丸暗記』した所で…

その女性を
あなたの『彼女さん』にすることは
ほぼ不可能です。

- ・恋愛本
- ・ネットの恋愛記事

で、ガンガン教え込まれる恋愛テクニク的な話は
確かに、『耳ざわり』だけは、一丁前にイイんです。

だけど・・・

『私を理解してくれない男』が
女性に対して気の利いたセリフを言っても
そもそも女性が、聞く耳を持ってくれない。

たとえば、女性と『2人きり』で、時間を過ごしていても、

あー、アタシ、早く帰りたいな・・・



好きな女性を相手に
情けない『醜態をさらす』ハメになる。

女性からの『手ごたえ』なんて
99.9999%ない。

本当に、これから先・・・

あなたが、女性と深く仲良くなって
恋仲に発展させるステージに入った時、

ホトホト困り果ててしまう。

なので、

ここで120%完全に
インプットして下さい。

『現実』という概念は、かなり大事です。

まず、あなたに伝えたいことは、

100人の女がいれば 100通りの『現実』がある

ということです。

- ・十人十色
- ・100人100様
- ・みんな違って、みんないい

まあ・・・

みんなが『いい』のかは、僕には分かりませんが…

みんな『違う』ことは確かです。

いいですか？

例えば、

1 番分かりやすいのは…

『あなたの現実』と『僕の現実』は
絶対に 120%、違いますよね？

もっと言うと！！

『あなたの現実』と『あなたの親友の現実』も違う。

どんなに仲がいい家族とも
『現実』は絶対に違うんです。

これに関しては
2 億%、断言できます。

『現実』は、絶対に違うんです。

では。

もっと実践的に・・・

- ・あなたの現実
- ・あなたが好きになった女性の現実

やっぱり、全然、違うんです。

この『大前提』を持っていないと
どえらい事態を招いてしまいます。

例えば、ですよ？

お相手の女性が
外国人の方であれば、

『文化の違いがある』

なんて、表現をする人が、いますよね？

ですが！！

相手の女性が同じ日本人だとしても
絶対に『文化の違いがある』んです。

では、

もっと分かりやすいように…

今日から、あなたは、

好きになった女性を 同じ日本語を操る宇宙人

だと、考えるようにして下さい。

これなら
分かりやすいですよ？

目の前にいる女性を…

言葉が通じない『宇宙人』だ！！

くらいに、考えておく。

それくらいに考えておく程度で
丁度いい『あんばい』なんです。

例えば、

ニワトリが「コケコッコー」って騒ぎながら
そこら中を、トコトコ自由に歩き回っている。

その光景を見ている…

- ・『僕』が、どう感じるのか？
- ・『カエル』が、どう感じるのか？
- ・『貧困の国の人』が、どう感じるのか？

．．．

みんな違いますよね。

僕の場合だったら
「あっ、ニワトリだ、可愛いな～」
って、感じるかもしれません。

ですが、

貧困で喘ぐ国の人が見たら
「あっ、食料だ、確保だー！！」
って、飛びつくかもしれません。

全然、違いますよね？

で、これ．．．

別に、極端な例じゃなくて。

本当に、人それぞれで
持っている現実は違います。

では、『ルール3』です。

ここで
あなたに覚えてほしいことは、

ルール 3 :

女性の感情に共感する

です。

ザックリ言うと…

Step1 : 女性の現実を理解してあげる。

Step2 : 女性の感情に共感してあげる。

というコトです。

いいですか？

女性の感情（気持ち）に
あなたが共感してあげない限り…

その女性と
信頼関係を構築することは
永遠にできません。

そう。

まず、1つ目に
女性の現実を理解してあげること。

そして、2つ目に
女性の感情に共感してあげること。

ここの部分を完全に、すっ飛ばして
恋愛テクニックを女性に使ってもムダ。

ド直球な『物言い』をするのであれば・・・

女性から毛嫌いされてしまう
ほとんどの男性たちは、

大事な部分（共感）を
すっ飛ばしてしまっているんです。

だから…

恋愛本で仕入れた、

- ・ 女を騙す甘い口説き文句
- ・ 女をそそのかす殺し文句
- ・ その気にさせる恋愛テク

を、

いくら女性相手に使っても
1つも、成功しないんです。

ラブホテルに誘い込む必殺フレーズ？

土台である共感を無視して
甘いセリフを女性の耳元でささやいても
威力ゼロです。

連絡先を交換する究極のテクニック？

基礎である
共感ができてない状態で、

その究極を女性にブツけても…

誰も『LINE ID』を
教えてくれません。

まあ・・・

運が良ければ、中には、

洪々『LINE』を差し出してくれる
親切的な女性もいるかもしれません…

が！！

結末は、

- ・既読スルー
- ・ブロック削除

と、相場は決まっています。

いいですか？

『理解』 = 『現実の共感』

まずは、この言葉を
頭に叩き込んで下さい。

あなたが、女性と仲良くなるためには
女性の『現実』に共感する必要があります。

では。

この話が
あなたの脳細胞に浸透するように
分かりやすい『例』を出しますね。

僕には
親友が1人いるんですが・・・

彼は、かなりの『車』好き。



で、

ご存知の方もいる、かもしれませんが…

『頭文字 D』

っていう、有名な漫画があります。

その漫画が大好きな
親友が1人います。

僕は、詳しくことは、よく知らないのですが
“頭文字”を「かしらもじ」と読むのではなく
「イニシャル」と読む程度には知っています。

とにかく彼は
ヒマさえあれば…

車を改造している、っていうのか……

何か『車いじり』を
熱心にやっている男です。

で、

僕も『車の免許』は持っているのですが
車を持ったことは人生で一度もない…

いわゆる『ペーパードライバー』で
正直に申し上げると、

僕は、車に興味ナシです。

ただね……

それだと…

恋愛では1つだけ
不便なことがあって、

『ドライブデート』

ですよ。

これは、僕にとっては
圧倒的な『弱点』です。

数年前に『レンタカー』を借りて
彼女とドライブデートをしたことがあるんですが
もう…、へトヘトに、疲労困憊しました。

確かに、楽しかった。

だけど・・・

それ以上に
クタクタに疲れました。

そう。

やっぱり、人それぞれで
『向き不向き』があります。

で、まあ、それは、さておき。

車好きの『親友』の話です。

例えば、

僕が、親友と一緒に街を歩いている。

その時に！！

なんか『カッコいい車』が
道路をバーッと走っていたら…

「あっ、あの車は、〇〇で、△△式の車で……」

始まるんです。

とにかく、僕には理解不能な解説が
いきなり『ベラベラ』始まるんです。

さらに正直に言うと…

僕は、その車を見ても
何とも感じません。

感じたとしても・・・

「ちょっと変わってて、カッコいい車だな～」
「映画のワイルド・スピードに出てきそうだな～」

所詮は、その程度なモンです。

・・・

じゃあ、ですよ？

例えば、

親友が、僕に対して…

「あの車、いいよな～、イケてるよな？」

そんな風に言ってきた、とします。

その時に

もしも僕が彼に対して…

・・・

「はあ？ オマエ、何言っちゃってんだよ～！！

あんなモン、下らねえだろ～
オレは、車好きの奴の気が知れねえな。

だってよ、そうだろ？

維持費も、ムダにかかる
ガソリン代だって、馬鹿になりやしねえ。

車いじって、喜んでるヤツの、気が知れねえよ！

別に、あんなモン
カッコよくも、何とも、ねえだろ～！！」

・・・

って、言ったら…

もう、そこで、

僕と彼との人間関係は終わり
完ペキに『破綻』しますよね？

で、

簡単に言うと・・・

今の話は
自分とは違う『現実』を
完全に、はね返していますよね。

相手の『現実』を
頭から全否定して
拒絶していますよね。

そう。

違うんです。

まず、最初は、

相手の『現実』に1回入ってあげる

必要があります。

例えば・・・

「あ～、そうか！！

お前は、こういう車が好きなんだ～
確かに、他の車とは、ちょっと違う感じがするね！

だけど、俺は普段、あんまり車に乗らないから
詳しいことは、イマイチ分からないけどね～（笑）

ま、でも、たまに、お前と会った時に
助手席に乗らせてもらうと、

ドライブも結構、楽しいし
車も、いいかなって、思うんだよね～！

ただね…、運転がね…、
かなり苦手っていうか、俺ダメだからな～」

・・・

とか。

まず、はじめは！！

女性の言葉を
全力で受け止めてあげる。

「なるほどね、〇〇さんは、こういう考え方なんだね！」

この受け止めてあげる『スタンス』です。

もし、これができなけりゃ
何1つとして、始まらない。

つまり・・・

女性の現実の中に入れてあげて
女性の現実を理解してあげることが…

『スタート地点』になります。

女性とラブラブ熱愛カップルになる 1番最初の『スタートライン』です

間違っても・・・

- ・否定
- ・拒絶

やっちゃダメです、完全アウトです。

例えば・・・

「私、ダイエットしなくちゃ！！」

そこで…

「えっ、○○さん
ダイエットなんて、必要ないっしょ！！」

違いますよね？

まずは一度
女性の現実に入れてあげる。

例えば…

・・・

「あ～、それ分かる、分かる！！」

俺も、ダイエットしないといけないって
思っはいるんだけどね、なかなかね…

やっぱり、カロリーとかも気になるし
ちょっと気抜くと、すぐに太っちゃうし…

体型って、すぐに、変わるからね～

俺も、スーツのサイズが変わったりして
結構、苦労してるんだよね…（汗）

でも、〇〇さんには
ダイエット、必要なさそうだけど？」

…

とか。

相手の女性を
ただ単に『褒めちぎれば良し』
って、ワケじゃないんです。

また後で、

女性を褒める方法についても
『具体的に』話していくので
安心はしてほしいんですけど…

あなたに今
絶対に120%覚えてほしいことは、

女性の現実に一度入ってあげること

そして。

女性の現実を理解してあげて 女性の気持ちに『共感』してあげること

です。

これだけは何が何でも
今ここで記憶して下さい。

そう。

まず、あなたが
女性との恋物語を始めるための
1番最初のスタートラインです。

この部分は
絶対に外せない要素です。

では。

次に。

『愚痴』って、ありますよね？

あなたが
好きな女性と楽しく会話している最中に
120%絶対に、話題に上がってくるモノ…

『愚痴』です。

これは何も・・・

女性との会話『だけ』に
限った話じゃありませんよね？

お酒を飲みながら誰かに愚痴を
グチグチ『こぼす』光景なんて
日常的によくあることですよ？

誰かの愚痴を聞く。

ごく当たり前の出来事だと思います。

では！！

ここから、圧倒的な話をします。

今回は1つ、

ストレスまみれの愚痴を逆手に取って 女を『イチコロ』にする圧倒的な方法

を、お伝えします…

が！！

その前に。

そもそも『愚痴』とは何か？

話は、そこからになります。

ですが、

今から、あなたに対して何やらクドクドと
哲学的な講義を始めるワケじゃありません。

すでに、ここまでの内容で
だいぶ話も長くなってきました。

僕が1人で得意げに
ダラダラと『長話』をしても
埒（らち）が明かない。

なので。

ここは『シンプル』に。

愚痴とは、自分の中で
済ませておくことができなくなった
『感情』が思わず口からグチグチと
こぼれ出てしまうもの。

コレが、愚痴の正体です。

ちなみに・・・

アルコールが体内に入ると
人は、ついつい愚痴をこぼしてしまう。

つまり、

酒のチカラを巧妙に利用して 女からドロドロした『本音』を引き出す

そんな『小ワザ』もあります。

覚えておいて、損はないでしょう。

しかし・・・

僕たちは
誰かから愚痴を言われたら
基本的に『反発』しますよね？

例えば、

「いーんだよ、お前、オレは仕事で疲れてんだよ！」
「そんなこと、イチイチ言ってんじゃねえーよ！！」
「待て、待て、メソメソ悩んでんじゃねえーよ！！」

あるいは。

「別に、大したことじゃねえーだろーよ
ちょっとは、自分の脳みそ使って、考えろよな？」

とか。

愛情のカケラも感じない『塩対応』を ネチネチ悩んでる奴に対してキメ込む

こともある、かもしれません。

今回の内容に則した表現を使うのであれば…

**僕たちは、相手の現実を
はね返してしまいがちです。**

ですが…

違いますよね？

まず、

目の前の女性が何かを話してきたら
その現実を『理解』してあげること。

コレが、今回の肝です。

例えば、

「うん、分かるよ～」

「そうだね、そうだよね～」

そんな風に

女性の現実を理解してあげることが
何よりも『大切なこと』ですよ？

女性の気持ちに共感してあげることが
絶対的に『必要な要素』でしたよね？

そうすることによって、

女性が…

胸の内に隠し持ってるヒミツの本音を
『ペラペラ』さらけ出してくれる

ようになります。

つまり・・・

女性が

他の誰にも話さないような、

『プライベートな話』

を、あなただけに

どんどん話してくれる。

ただし！！

注意ポイントが『1つ』あります。

どうしても『共感』というテーマの話になると
見当違いな誤解をしてしまう男性がいるのです。

例えば、こう。

「なるほどね、共感でしょ～
女に話を合わせりゃ、いいだけでしょ？」

「あー、そういう話ね、分かってるよ～

共感なんてさ、女に調子合わせて
思ってもないことを、

ベラベラ言えばいいだけ、でしょ？」

そう。

- ・ オナを騙すように調子を合わせる
- ・ 話をウマく合わせて女のご機嫌取り

思ってもねえコトを
シャベリ倒せばいい。

要するに、

とにかく女性の話に
調子を合わせればいい…

と。

そんな風に『共感』を捉えている
男性が多いのが事実です。

で、まあ・・・

ここまで真剣に読んでくれた
『あなた』であれば、

もう、お分かりだとは思いますが…

それは『違う』と
断言しておきます。

あなたは
女性の話に共感してあげながら
女性の現実を理解してあげる。

そして、

キュートな女性と仲良くなって
深い信頼関係を作っていく。

そうです。

そのために『共感』を
上手に使うワケです。

決して『悪用しろ』ってことじゃない。

ただ単純に、キレイゴトで…

相手の女性の話に、

口裏を合わせてテキトーなことを
女にベラベラ抜かせば OK オーライ

ということでは、決してありません。

コレが、注意ポイントです。

僕たち男性は、

女性に共感して…

女性に共感して…

女性に共感して…

女性から『本音の感情』を
それとなく引き出していく。

つまり、

女性とのコミュニケーションを
スムーズに進めていくことに
『理解』や『共感』を使って下さい。

かなり大事なので、もう一度だけ言います。

『共感』がすべて

そして！！

あなたが女性に対して、

共感ができなければ、“何も”始まらない

という『事実』を覚えて下さい。

そう、

その女性との『信頼関係』はおろか
『恋』も始まらないということです。

いいですか？

つまり、どういうことか？

あなたが女性に
共感することができなければ
彼女ができない…

という意味です。

- ・これから一生、彼女が1人もできない
- ・死ぬまで独身の寂しい人生を送る

シンプルに表現をすれば
そういうことです。

スゴく『簡単』でしょ？

常に、物事は『単純』です。

で、

前にも言いましたが、

- ・恋愛
- ・女性

どちらも難しくありません。

あなたは必要以上に、

『恋愛』や『女性』を
小難しく考え過ぎないで下さい！！

大丈夫です。

もしかしたら今は
心が『モヤモヤ』していて…

(彼女を作るのって、難しいなあ…)

と、感じているかもしれません。

ですが。

あなたは近い将来、

たった1つの表情の変化で
『オンナ心』を鋭く察してあげられる
イカした男にガラッと180°豹変する

ことができます。

アセらなくて大丈夫です
今は着実に前へ進みましょう。

でも、そうは言っても・・・

今あなたは『最強の環境』にいない、と思います。

例えば、

- ・そそる色っぽい美女が周りにたくさんいる
- ・膨大な量の女友達がLINEに登録されている
- ・カワイイ女性との運命的な出会いに恵まれている

etc…

ハーレム樂園のような環境に
身を置いている幸せな男性は
限りなく『少ない』と思います。

それこそ、昔の僕であれば…

女っ気なんぞは一切ナシ 親友は自前の右手『オナニー中毒童貞』

でした。

そう、

やっぱり、あなたに何かしら『問題』があって
恋愛で何かしら困って苦しんでいると思います。

例えば、

「女性との出会いがゼロなんです…」
「好きな子とうまく会話ができないんです…」

etc …

そんな風に頭をどっしり抱えて
悩み込んでいるかもしれません。

そして、

いろんな『不安』を感じていると思います。

…

「あのさ、オレ、彼女ができたんだ！」

あなたの友達から
聞きたくもない『報告』を受ける度…

裸の心に
鋭い針をチクチク刺されている。

そんな苦しみを感じていた
かもしれません。

あなた 1 人だけが取り残されていく
緊迫したアセリを毎日感じている…

かもしれません。

ですが、安心して下さい。

では！！

今回のラストは、

女性の愚痴を聞いてあげながら
あなたにコロッと『恋落ち』させる

とっておきの『武器』を授けます。

そして、

女性の愚痴『だけ』ではなく
すべての会話で使い回すことが可能…

あなたが周りに『ひとつ』差をつける
究極の会話テクニックをお伝えします。

オンナを騙す甘いマスクがなけりゃ
絶妙なトークで『その気』にさせる
特級レベルの技を習得すれば問題ナシ

あなたは手ごたえありの恋愛テクで
気になる女性を『イチコロ』にする。



女性を細胞レベルで恋落ちさせる
究極の色恋テクニック、

共感テンプレート

を、今から
あなたにお伝えします。

まず、テンプレートとは『型』です。

僕は中学時代に
バスケットボール部に入っていました。

バスケットボールで言うなら
『シュートフォーム』みたいなモン。

つまり、

女性が無意識レベルで惚れてしまう 恋愛トークお決まりの型

『共感』のテンプレートです。

いいですか？

あなたが『共感テンプレート』を
上手に使いこなすことができると…

- ・職場で1番人気のマドンナ
- ・銀座ホステス No.1 のべっぴんさん
- ・女子アナ似のかなり色っぽい美人
- ・初対面で一目惚れしたカワイイ女性

etc…

どんな女性に対してでも瞬時に
あなたは信頼関係を構築できる。

目の前にいる女性の現実に入り込んで
自然な流れで、共感することができる。

すると・・・

たとえ女性がイヤがっていたとしても
つい『あなた』に好感を抱いてしまう。

(○○君って、私のタイプかも…)
(○○君となら、もっと先まで…)

あなたと『オシャベリ』を楽しんでいると
相手の女性が、次第に、ゾクゾクしてくる。

で、

あの…少しだけ話が逸れて
本当に申し訳ないんですが…

今、かなり大事なコトを
ふと思い出したので話します。

それは、

女性と2人だけのヒミツを共有すると 急激に『カンケー』が発展してしまう

という話です。

例えば…

会社の
新入社員同士が仲良くなる、

- ・1番最初のきっかけ
- ・はじめの話題

で、1番多いのは何か
あなたをご存知ですか？

答えは・・・

ピチピチの新入社員 80%以上が 上司のワル口をきっかけに絆を深める

という
統計データがあります。

で、

ここで僕が
あなたに言いたいコトは…

『悪口』はスゴいぜ！！

…という、クソガキみてえな
下らないことじゃありません。

この話の本質は『秘密の共有』です。

じゃあ！！

もっと深く突っ込んで表現します。

共感テンプレートを使うことで
あなたは、気になる女性から…

他の連中には言わない本音（ヒミツ）を スムーズな流れで引き出すことが可能

になります。

つまり？

その女性との関係性が
より深まってしまう。

深まる、のではありませんよ？

どうしても
深まって『しまう』んです。

では！！

分かりやすいように
ダイレクトな表現をします。

「あなた無しでは生きられない」と
いつの間にか女性はあなたに無我夢中

要するに、

その女性の中で…

(○○君だけは、特別だなぁ～)

と感じてしまう。

では『本題』です。

あなたが女性と
ドキドキな関係を作るために必要な
『共感テンプレート』を話します。

これは・・・

僕の中でも
最強の部類に属する
恋愛テクニックです。

で、

別に、あなたを脅かすつもりは
これっぽっちも無いのですが…

決して、良いコトばかりではありません
あなたは上手く使いこなす必要があります。

ただし、使いこなすことができれば
出会ったばかりの女性と仲良くなる
『だけ』ではなくて、

- ・周りの人たちをあなたの味方にする
- ・関係にヒビが入っていた友人と仲直り
- ・泣き言ばかり漏らす部下を励ます

etc…

他にも、

イラつく表情でガミガミ口うるさい
上司の心をズル賢く掌握することも
あなたは簡単にできてしまう。

もちろん！！

あなたが密かに恋心を寄せている
女性と心の距離を一気にグッと縮める

ことができる、

強烈な『威力』を発揮する
究極のテンプレートです。

で、

今回ここまで僕はいろんな話を
あなたにベラベラしてきました…

が！！

その内容『全部を忘れた』としても
今から話す共感テンプレートだけは
確実に覚えて下さい。

Step1 :

どういう問題があるのか聞く

まずは愚痴を言ってきた女性に対して
どんな問題があるのかを『ちゃんと』
聞いてあげて下さい。

なんとな〜く女性の話を
聞いてあげるのではなく、

キチンと女性の言葉に
耳を傾けて下さい。

Step2 :

どういう感情を持っているのか聞く

ここでのポイントは『感情』です。

つまり、

- ・どう感じているのか？
- ・どういう感情を持っているのか？

女性に『気持ち』の部分を聞いて下さい。

で。

多くの男性たちは
この部分が聞けない。

そもそも！！

女から毛嫌いされる自己チュー野郎は 『感情』を聞くことを知らない

でも・・・

そうは言っても。

もしかしたら今
あなたは心の中で…

(感情を聞くなんて、恥ずかしいなあ…)
(気持ちを聞くなんて、なんか難しいなあ…)

そんな不安を
チクチク感じたかもしれません。

ですが、安心して下さい。

あなたが『質問』したら
女性は案外、あっさり答えてくれます。

例えば、

「ねえ～、聞いてよ～
今日さあ、会社の〇〇ってヤツに…」

こんな具合で
女性の口から愚痴が飛び出てきた。

かなり激しい『物言い』で
ギャーギャーと文句が始まった。

そこで。

「あ～、そんなことがあったんだ…
そりゃ、ひでえなあ～、大変だったね、

じゃ、それで、〇〇ちゃんは、どう感じたの？」

- ・どんな気持ちになったの？
- ・どんな気分になったの？
- ・どんな風を感じたの？

etc…

ここで肝心なのは…

女性の『思考』ではなくて
女性に『感情』を聞くこと。

つまり、

『どんな感情を持っているのか』

を、

Step2 で、女性に聞いてあげて下さい。

Step3 :

「分かるよ」と言う

で！！

ここが1番『重要なステップ』です。

あなたは
必ず、120%、絶対、何があっても…

女性に対して
「分かるよ」と言って下さい。

この一言です。

「分かるよ」と、ちゃんと言葉に出して
目の前にいる女性に言ってあげて下さい。

そう。

もしかしたらね、、、

あなたは、その女性とは
もう随分、長い付き合いで…

『○○ちゃん』ことを
十分に理解しているかもしれない。

分かってあげている、かもしれない。

他の誰よりも女性のことを
知っているかもしれない。

だけど！！！！

あなたとオシャベリしている女性は 「分かるよ」のセリフが聞きたい

んです。

「分かるよ」の一言が、女性は聞きたいんです。

では。

かなり大事な話をします。

あなたが女性を
理解してあげている『だけ』じゃ
全然、話にならない。

だけど・・・

あなたが女性を
理解してあげていることが
女性に伝わった時に…

はじめて『理解』に
絶大なパワーが生まれる。

そう、

サラッと言いましたが・・・

コレは本当に重要なことです。

つまり、ですよ？

あなたからの「分かるよ」のセリフを聞いたら
女性は安心するんです、心がほっとするんです。

それをきっかけにして
女性が『心』を開き始めるんです。

あなたは絶妙な言葉遣いで…

キュートな女性のオンナ心を
ガバッと『こじ開けて』ください。

ただーし！！

女の蜜園を守る濡れたビラビラを
ぞんざいに『こじ開け』たらダメです…

…よね？

そうです。

ベッドの上では・・・

あなたは優しいタッチで
彼女が隠し持っている究極のエロスを
徐々に、広げてあげてくださいね。

…おっと、失礼！！

話が、あらぬ方向へ飛んでしまいました。

では、話を戻します。

あなたは、好きな女性に対して
必ず「分かるよ」と言ってあげてください。

では、次です。

Step4 :

同じ感情を持った時の話をシェアする

あなたが、

- ・似たような感情を持った時の体験談
- ・似たような経験をした時のエピソード

を、

女性に話してあげてください。

分かりますか？

あなたは Step2 で
女性の『感情』を聞きましたよね？

つまり、

それと同じような
感情を持った時の体験談を
女性に話してあげるんです。

すると…

(あっ、○○君は、口先だけじゃなくて
本当に私のことを分かってくれてるんだ！！)

そんな風に、感じる。

そうなんです。

この『Step4』が
ズコンッと抜け落ちていると・・・

ただ口裏を合わせているだけの 『お調子者』になってしまいます

で、

この話をすると・・・

「いやあ、そんな都合よく
女性の話にマッチする体験談なんて…

オレには、無いですよ、ムリですよ～」

「いや、ちと、そりゃ、難しいなあ…」

と。

そんな風を感じる男性が
かなり多いんですけど…

大丈夫です。

あなたが、

女性に共感してあげるのは あくまで『感情』の部分だけです

分かりますか？

- ・同じ出来事
- ・同じ体験談

を、女性に話すワケじゃありません。

あなたが過去に
同じような『感情』を持った時の
体験談やエピソードを話すんです。

女性が何かしらの
『感情』を持っていますよね？

例えば、

- ・ 怒り
- ・ 悲しい
- ・ 嬉しい
- ・ 楽しい

そういう感情（気持ち）です。

一般的には『喜怒哀楽』なんて
言ったりもしますよね？

そう、

確かに！！

人間の経験は無数にありますが
人間の『感情の数』は限られている

- ・ 気持ちの数
- ・ 感情の種類

これは、ある程度
決まっていますよね？

みんな一緒ですよね？

例えば、

あなたの目の前にいる女性が
『怒っている』としますよね？

そしたら・・・

今日まで、あなたが生きてきた中で
何かしらの『怒り』を感じたことは
きっと一度くらいはありますよね？

そう、

体験の数は山ほどありますが
『感情の数』は限られているんです。

女性と似たような近い経験で
同じような感情を持った出来事が
あなたにも絶対にあります。

そして、女性は・・・

自分が胸に抱いている
感情に共感してもらった時に
ようやく初めて…

(あっ、アタシ、理解された！！)
(あっ、〇〇君、分かってくれた！！)

そう感じて、

そこでようやく…

女性と『奇跡の信頼関係』が誕生します

この『共感テンプレート』は
かなり凄まじいです。

あなたが、

『好きな女性を口説いて、彼女にする』

そんな、底い次元の話じゃない。

あなたが持つ『すべての人間関係』を
ガラリと 180° 好転させることが可能

で・す・が。

ただし！！

1つだけ『注釈』をつけておきます。

あなたが、女性と会話をしている最中に
『共感テンプレート』を使おうとした…、まさに、その時！！

想像すらしていなかった
緊急事態が発生する恐れがあります…

そう。

「よっしゃ、じゃ、使ってみるか！！」

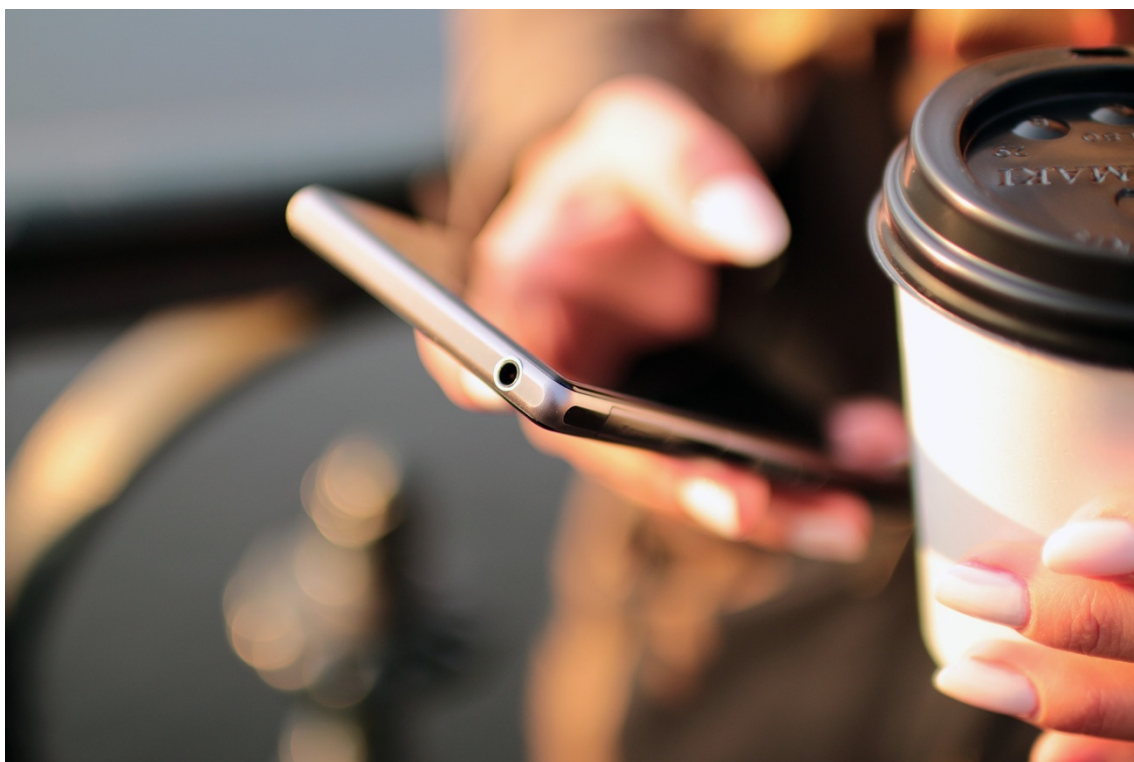
こんな風に、

あなたは気合十分で
女性との会話に臨む、と思います。

だけど・・・

女性が『自分の話』を、全然してくれない…

女性がスマホに無我夢中で
『オシャベリ』自体が始まらねえ…



へい、へい、へい！！

ちよい待ち、ちよい待ち！！

…そりや、ねえ～ぜ。。。

そもそも最初の『Step1』が突破できない。

という・・・

あまりにも残酷な現実が 仁王立ちしながら待ち受けている

可能性が、十分に考えられます。

そう…

中には、

女性が『自分の話』をしてくれない
かなり冷え切ったケースがあります。

実際の会話の中で
共感テンプレートを使っていくと、

あなたも肌感覚で
この悲劇を実感することができる
と思うのですが…

1番最初 Step1 の段階で 女性が口を閉ざして『だんまり』状態

そして、困惑。

今後、あなたは
そういう事態に見舞われる
可能性があります。

ですが・・・

(どうしよう、どうしよう…)

そんな風に
慌てふためく必要は一切ありません。

大丈夫、安心して下さい。

もしも、今後！！

そんな困難に直面した時には…

幻の Step0 : 先に自分のことを話す

です。

まず『先に』あなたの感情を
女性にさらけ出してあげて下さい。

例えば、

- ・弱くて情けない部分
- ・素直で正直な気持ち
- ・人様には言いづらい失敗談

etc…

あなたが『先に』話して下さい。

すると、あなたの目の前にいる女性は
自分が隠し持っている『本当の気持ち』を、

あなたに『話しやすい雰囲気』になって
だんまり閉ざしていた口を開いてくれます。

ぜひ、実践してみてください。

では、最後に。

あなたに大切なメッセージを贈ります。

今回は『共感』をテーマに
お話ししました。

ここで理解してほしいことは…

常に、女性の感情に共感してあげる

そして、

常に、女性の感情にフォーカスする

- ・ 理屈で正しいことを言う
- ・ 合理主義的な会話をする

etc…

全然、違うんです！！

女性との恋愛で何よりも大事なのは
『感情』や『気持ち』です。

つまり、

- ・ 女性が、どう思っているのか？
- ・ 女性が、どう感じているのか？

ここさえ外さなければ、大丈夫。

あなたは、24時間365日
女性の感情にフォーカスして下さい。

そう、

女性に『モテない男性』たちは
ここに全然、気づいていません。

それこそ…

いくら女性に調子を合わせた所で
『共感』とは到底、言えません。

男女の恋愛で、何よりも大切なことは、

目の前にいる女性は『今』 どんな感情を持っているのか？

ポイントは『今』です。

『スポットライト』を女性に当てて下さい
『フォーカス』を女性に合わせて下さい。

女性が口先でペラペラ話している
『表面的な言葉』に惑わされるのは
絶望的に不器用なスケベ男だけ…

ですが、

当然、あなたは違いますよね？

あなたは女性の言葉の裏に隠された 真の『感情』に注目するスマートな男

ですよ？

そうです。

女性は、

- ・本音
- ・建前

の使い分けに関しては
プロ級の腕を持っています。

世の女性は、口先だけの『建前』で ウブな真面目男を欺くなんて朝メシ前

です。

僕たち男性の想定を
遥かに超えてきます。

あなたが思っている以上に
女性は建前をシャベってきます。

『本音』なんて、原則、話してくれません。

そもそも、

『気持ちを察する』のが当たり前というのが
女性同士のコミュニケーションスタイルです。

僕たち野郎連中のように 思ったコトは『ズバリ』物申す！！

そんな『ストロング・スタイル』とは
似ても似つかないのです。

で、

女性とのコミュニケーションの話
については…

また後で
あなたに詳しくお伝えするので
安心してほしいんですが。

とりあえず、今の所は、コレだけです！！

たった今から、

あなたは、とにかく…

女性の『感情』にフォーカスする

です。

では！！

もっと分かりやすい表現をします。

いいですか？

．．．

今後、あなたは…

女性の服を全部、脱がせて
色っぽい『カラダ』を丸裸にするよりも
女性が隠しているラブリーな『女心』を
丸裸にしてあげることが、まず先！！

そうです。

「あー、〇〇ちゃんと、一発ヤリてえな〜！！

よし、どうやって
〇〇ちゃんを、ラブホに連れ込もうかなあ…」

…違いますよね？

まずは女性の現実を理解してあげて下さい
そして女性の感情に共感してあげて下さい。

あなたは
惚れた女性のハートをモノにする『順番』を
決して、間違えないで下さい。

今から、あなたの『愛』が、急激に加速します。

ぜひ！！

24時間以内に
今話した『共感テンプレート』を
実際に使ってみて下さい。

できれば、女性に使ってほしい。

もしも今、あなたの生活の中に
実践できそうな女性がいない、のであれば…

男性相手でも、全然いいので！！

まずは実際に試してみて
経験してほしい。

そして。

今まで、肌感覚で感じる事がなかった
会話での『手ごたえ』を実感して下さい。

いいですか？

女性は、

- ・共感してくれないイケメン男
- ・共感してくれるブサイク男

どちらを『彼氏』に選抜するのか？

間違いなく・・・

“共感してくれる”ブサイク男を
女性は『自分の彼氏』に無意識で選ぶ

で、

コレは
単なるキレイゴトではなく
まぎれもない『事実』です。

・・・

たった今『あなた』は
女を騙す顔を持ったハンサム野郎に
雲泥の差をつけた！！

さあ、

ここから先・・・

あなたが何をするのか？

たった『この一点』で
あなたの運命、すべてが確定します。

そして、

ここまで真剣に読んでくれた男性は
ごくわずかです。

みんな・・・

- ・ YouTube 動画をぬるっと見る
- ・ Twitter をダラダラ眺める
- ・ Netflix で新作を鑑賞する

etc・・・

今流行りの『SNS』や『ネット』ってヤツに
心を奪われています。

こんな、クソ長げえ文章を
読んでるヒマがないのです。

そういう方が、多いのです。

ですが、今。

この文字を読んでくれている『あなた』は
自分のために、

- ・時間
- ・労力

を使える、スマートな男性です。

そこらにいる男性たちとは
ひと味も、ふた味も、違うってコトです。

なので、

せっかく最後まで読んだのであれば
ぜひ、実際に知識を活かして使う。

そして、

大好きな女性と2人で
ステキな恋を楽しんで下さい。

ゲリラ豪雨のように襲いかかる
『刺激的な恋』と『魅惑的な愛』を
全身で浴びるように味わって下さい

その資格を持った、デキる男が…

『あなた』

なのです。